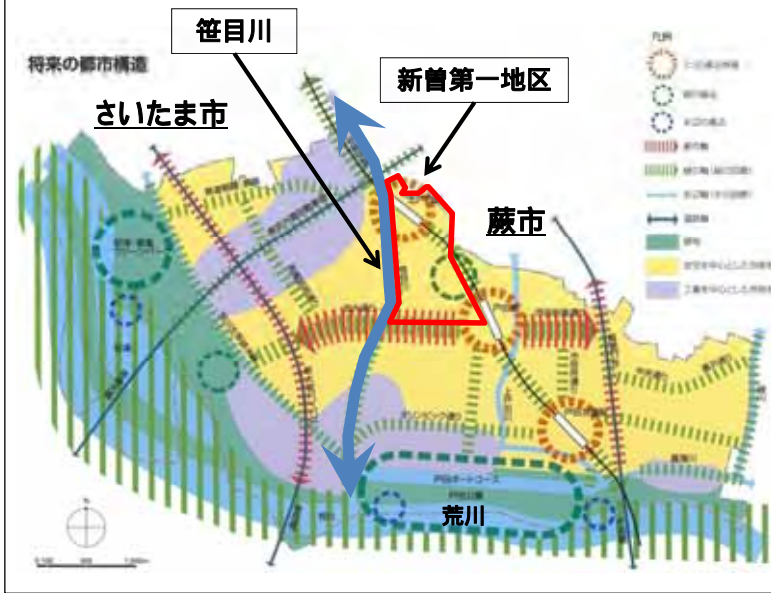


戸田市は、荒川の自然に恵まれ、江戸時代には中山道の「戸田の渡し」が設置され、交通の要衝として栄えてきたまちです。また、昭和39年の東京オリンピックのポート競技会場ともなった「戸田ポートコース」や年間100万人以上が訪れる「彩湖・道満グリーンパーク」があり、水と緑あふれるオアシスのようなまちであります。この「水」と「緑」の地域資源を活かし、日々の暮らしの中でのよこびを実感できるまちづくりを推進します。

市町村域とまちづくり・川の関係 (案内図)



まちづくり等の課題

筈目川等の河川は清流ルネッサンスの取組によって水質等が改善されましたが、水際へのアプローチがないため、清流を実感することができませんでした。道路、河川、公園等の基盤整備は進んでいますが、それらの連携やネットワークが不十分でした。



目標・テーマ

子どもの成長と生涯にわたる学びのまち
 緑と潤いのあるまち
 快適で過ごしやすいまち
 人が集い心ふれあうまち

県に実施してほしい取組

筈目川は、「清流ルネッサンス」の取組により以前と比べて水質が改善されたため、メダカやハゼなど、魚が多く存在しています。そこで、新曽第一地区において、川沿いの遊歩道(プロムナード)から水際へのアプローチを整備することにより、地域住民や子どもたちが魚等の生物に直接触れるなど、五感で水辺を感じることができます。



実施してほしい取組の概要

多自然型護岸の整備(法面の改良)
 水際へのアプローチの整備及び水際のビオトープ整備
 (歩道、川沿いの公園 + 歩行者専用道路との連携)

工程表

	H24	H25	H26	H27
多自然型護岸の整備(法面改良)				→
水際へのアプローチの整備等	北戸田駅西環状線歩道との連携	川沿いの公園 + 歩行者専用道路との連携		

市町村が取り組む事業等の概要 (新曽地域)

様式 - 4

新曽地域では、土地区画整理事業による道路等の基盤整備をはじめ、河川・水路の水質改善や散策路整備、JR埼京線沿いの「戸田 華かいどう21」の整備など、水と緑を活かしたまちづくりを進めています。



事業等の概要

新曽第一地区における土地区画整理事業(社会資本整備総合交付金事業)による基盤整備(道路、公園等)、景観づくりの推進地区の指定による景観づくりの推進【継続】
 新曽第二地区における土地区画整理事業による基盤整備、上戸田川の新河道整備【新規】
 新曽中央地区における「街なみ環境整備事業」(社会資本整備総合交付金事業)による基盤整備及び良好な街なみの形成、水路(SY-5)と両端のスポットを活かした水辺づくり【新規】
 JR埼京線沿いの花と緑により演出された歩行者空間「戸田 華かいどう21」の整備【継続】
 上戸田川等における「清流ルネッサンス」(H13～H22)後の水質改善の取組(河川水の水質改善、ヘドロの浚渫等)【継続】
 さくら川、水路(SY-28)における散策路整備【新規】
 「水と緑のネットワーク形成プロジェクト」(笹目川地区、戸田中央・葛蒲川沿川地区)による笹目川プロムナード、上戸田川、戸田 華かいどう21等における生態系に配慮した整備【新規】
 笹目川を中心とした荒川等の河川、水路、戸田ポートコース、華かいどう21等によるネットワークの形成、歩行者空間の整備【新規】

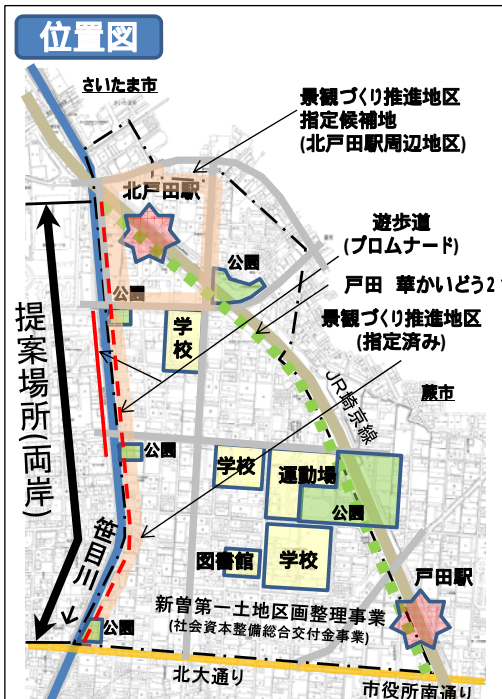
工程表

	H24	H25	H26	H27
水路(SY-28)散策路整備	→ H23 ~ 27 →			
さくら川散策路整備			→ H26 ~ →	

市町村が取り組む事業等の概要 (新曽第一地区)

様式 - 4

新曽第一地区では、「社会資本整備総合交付金」を活用し、平成22年から平成26年の5年間で「笹目川左岸プロムナード」等のハード事業や北戸田駅周辺地区における「景観づくり推進地区」指定等のソフト事業を行い、水と緑を活かしたうまいとにぎわいのある美しいまちづくりを進めています。



事業等の概要

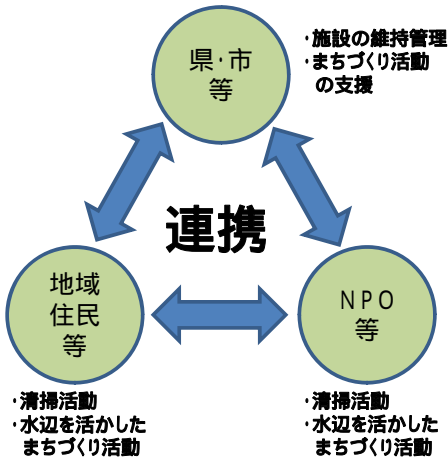
新曽第一土地区画整理事業による基盤整備(道路、公園等)
 笹目川左岸プロムナード(遊歩道)整備
 北戸田駅周辺地区の景観づくり推進地区指定
 景観づくり推進地区における景観づくりの推進

工程表

	H24	H25	H26	H27
左岸遊歩道(プロムナード)整備	→ JR高架橋 ~ 小堤橋(H23 ~ 26) →			
景観づくり推進地区の指定等	→ 北戸田駅周辺地区景観づくり推進地区指定 →		→ 北戸田駅周辺地区景観づくりの推進 →	

笹目川の良い河川環境を維持するため、県、市等の施設管理者は地域住民、NPO等と連携を図ります。また、将来的には維持管理活動を通じて、地域住民等が主体となった地区のまちづくりへとつながるよう、市が支援を行います。

体制図



地域連携の概要

戸田市による笹目川の河道内の清掃、川沿いの道路(プロムナード等)の維持管理、整備後の親水施設の維持管理(予定)

笹目川沿川町会(11町会)によるゴミゼロ運動等の清掃活動の支援

笹目川における「彩の国リバーサポート制度」に基づく水辺サポーター(3団体;約140人)による清掃活動の支援

地域住民、NPO等による水辺を活かしたまちづくり活動の支援

取組全体のアピールポイント

戸田市では、市の財産は「人」「水」「緑」と考えています。本取組は市民が「水」と「緑」という財産を五感で実感できることを目指すもので、特に戸田市の将来を担う子どもたちの環境学習の場として活用するとともに、わがまちへの愛着を深めることにつなげたいと考えています。

将来的には、笹目川だけにとどまらず、荒川をはじめ、市内の河川・水路をネットワークとしてつなげ、市全体の回遊性を高めたいと考えています。